



昭和43年11月8日 国指定史跡
「遠見塚古墳」について

仙台駅から南東約3.5kmに位置する、長さ110m、高さ6.5m、東北第5位の規模を持つ前方後円墳です。

古墳の型式、構造、出土遺物から見て、4世紀末から5世紀初めごろの墳墓と考えられています。被葬者は当時、すでに強力な政治・経済力を持ち、畿内との関係を保ちながら、広く仙台平野の王として君臨していたことを示す遺跡です。



本校に隣接している古墳で、新校舎建設で校庭が使用できなかった時期に、休み時間の憩いの場所として子どもたちに利用されました。

毎年10月には、ここで児童会行事「古墳まつり」が開かれます。

